

2017年～2026年の毎年11月第3週に 当院においてCT検査を受けられた方へ

—「全国国立大学附属病院におけるCT撮影線量調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 病院長 前田嘉信

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学 准教授 松井裕輔
研究分担者 岡山大学病院 放射線部 技師長 本田 貢
岡山大学病院 放射線部 副技師長 赤木憲明

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

CT検査は患者さんへ治療や診断を提供できるという利益がありますが、その一方で、X線被ばくが必ず発生するという不利益があります。CT検査では少ない被ばくで医療に必要十分な画像を提供するよう放射線量を調整することが大切であり、これを「最適化」と言います。CT装置には「放射線量の数値」が表示されます。最適化をより推し進めていくためには現状の「放射線量の数値」のデータを詳しく解析することが必要です。本研究の目的は全国国立大学附属病院（43施設）でCT検査を受けた患者さんの線量データの調査を行うことで実態を把握し、その結果を各病院に還元することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この調査研究によって線量の最適化や将来に向けた放射線安全管理への取り組みを加速させることが期待できます。またこれを足がかりに継続的な調査研究を展開することができれば、国民の医療被ばく線量の最適化に大きく寄与できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年～2026年の毎年11月第3週の診療時間内に岡山大学病院および共同研究機関でCT検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028年3月31日

3) 研究方法

2017年～2026年の毎年11月第3週の診療時間内に当院においてCT検査を受けられた方を対象に、研究者が診療情報を収集します。調べた情報はこの研究の主幹施設である群馬大学医学部附属病院放射線に集約し、これを解析した結果は全国国立大学附属病院に還元されます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテまたは撮影記録から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、体重
- ・ CT装置名、撮影部位、検査線量を示す volume CT dose index (CTDI_{v01}) と dose-length product (DLP)

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了時まで、岡山大学病院放射線科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、放射線科のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学

氏名：松井裕輔

電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316